

## 2026年4月度 高島屋営業報告

2022年3月から「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、営業報告で開示する売上高につきましては、従来の基準(総額売上高)で開示しております。

### 〔売上高 総計〕

		(前年比 単位:%)			
(株)高島屋 計	※1	+5.6	(株)高島屋 および 国内百貨店子会社 計	+5.5	
(株)高島屋 既存店 計	※2	+6.8	(株)高島屋 および 国内百貨店子会社 既存店 計	※2	+6.7

### 〔店舗・事業部別 概況〕

		(前年比 単位:%)					
		売上高	入店客数	売上高	入店客数		
大 阪 店		+11.7	△0.5	E C 店	+15.8	-	
京 都 店	※3	+10.0	△1.3	(株)高島屋 各店 計	+6.9	△4.1	
泉 北 店		+7.2	+2.6	(株)高島屋 各店 既存店 計	※2	+8.3	+0.0
日 本 橋 店		+8.4	△2.2	岡 山 高 島 屋	△0.4	△2.5	
横 浜 店		+6.1	△0.5	高 崎 高 島 屋	+5.8	+0.4	
新 宿 店		+8.4	△0.3	(株)高島屋 各店 および 国内百貨店子会社 計	+6.7	△4.0	
玉 川 店		+4.5	+0.8	(株)高島屋 各店 および 国内百貨店子会社 既存店 計	※2	+8.0	△0.0
大 宮 店		△1.0	△2.1	法 人 事 業	△15.0		
柏 店	※4	△0.2	+5.0	ク ロ ス メ デ ィ ア 事 業	△2.7		

- ※1. (株)高島屋の売上高は、(株)高島屋各店、法人事業、クロスメディア事業を含みます。
- ※2. 本年1月7日に営業を終了した「堺店」の前年実績を控除しています。
- ※3. 京都店は「洛西店」の売上高と入店客数をそれぞれ含みます。
- ※4. 「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」の売上高と入店客数をそれぞれ含みます。

### 〔商品別売上高〕

		(前年比 単位:%)						
		(株)高島屋	(株)高島屋 および 国内百貨店子会社					
衣料品	+3.9	+3.8	食料品	△1.6	△1.5	サービス	+3.3	+3.4
紳士服・洋品	+1.0	+1.3	生鮮食品	△5.8	△5.6	その他	△2.8	△2.4
婦人服・洋品	+5.1	+4.9	菓 子	△0.9	△1.0			
子供服・洋品	+2.2	+2.4	惣 菜	△3.0	△2.8	合 計	+5.6	+5.5
その他衣料品	△1.1	△1.5	そ の 他	+1.0	+1.1			
身のまわり品	+14.3	+13.6	食 堂 ・ 喫 茶	△0.2	+0.2			
家庭用品	△2.1	△2.1	雑 貨	+9.7	+9.7			
家 具	△3.6	△2.7	化 粧 品	+0.6	+0.3			
家 電	△16.4	△17.3	美 術 ・ 宝 飾 品 ・ 貴 金 属	+20.4	+21.2			
その他家庭用品	+3.7	+3.8	そ の 他	+8.6	+8.5			

○百貨店売上高の前年比(※既存店対比)におきましては、店頭売上高+6.7%(※+8.0%)、免税売上高+18.1%、免税を除いた店頭売上高+5.0%(※+6.5%)となりました。

○国内顧客は、春物衣料・雑貨に動きがみられたことや、食料品催事が堅調に推移したことで、前年実績を上回りました。

インバウンド顧客については、中国が前年実績を下回った一方、その他の国が伸長し、全体では前年実績を上回りました。

○法人事業は、前年における大口受注の反動により前年実績を下回りました。

クロスメディア事業につきましては、食料品・リビングは堅調に推移したものの、主力のファッションが伸び悩んだ影響により、前年実績を下回りました。

○5月の百貨店売上高の前年比(14日までの累計 ※既存店対比)は、店頭売上高+7.6%、免税売上高+22.7%、免税を除いた店頭売上高+5.6%で推移しています。